

インターネットサイトによる効果的な HIV 検査情報の発信と その有効活用に関する研究

研究分担者 佐野 貴子 (神奈川県衛生研究所)
研究協力者 近藤真規子 (神奈川県衛生研究所)
土屋 菜歩 (東北大学 東北メディカル・メガバンク機構)
須藤 弘二 (株式会社ハナ・メディテック)
星野 慎二 (特定非営利活動法人 SHIP)
井戸田一朗 (しらかば診療所)
清水 茂徳 (東日本国際大学)
生島 嗣 (特定非営利活動法人 ふれいす東京)
岩橋 恒太 (特定非営利活動法人 akta)
堅多 敦子 (東京都立駒込病院)
杉浦 太一 (株式会社 cinra)
今井 光信 (田園調布学園大学)
加藤 眞吾 (株式会社ハナ・メディテック)
市川 誠一 (人間環境大学)
白阪 琢磨 (独立行政法人国立病院機構大阪医療センター)
今村 顕史 (東京都立駒込病院)

研究要旨

インターネットを介して保健所等の HIV 検査相談施設情報や HIV/エイズの基礎知識などを継続的に提供し、HIV/エイズの知識普及や理解促進、HIV 検査希望者への受検サポートを目的としたウェブサイト「HIV 検査・相談マップ」(<https://www.hivkensa.com>) の管理運営を行った。本サイトの情報提供の効果を調査するため、アクセスアナライザーでの利用状況の解析および保健所等 HIV 検査担当者へのアンケート調査を行った。新規事項としては、サイトの全面リニューアルとしてコンテンツ管理システム (CMS) の変更および新規デザイン作成、研究班で作成した梅毒啓発ページ等の掲載を行った。また、2020 年 1 月の新型コロナウイルス感染症流行以降、緊急事態宣言発令等により保健所等 HIV 検査の中止・縮小が相次いだことから、検査の事業縮小に伴う影響等を調査した。

年間サイトアクセス数は、2019 年は 223 万件、2020 年は 147 万件、2021 年は 104 万件であり、2019 年は 2001 年のサイト開設以来、過去最高のアクセス数となったが、2020 年以降は減少傾向となった。要因としては、2019 年は 2018 年 11 月公開の映画により HIV/エイズへの関心が高まったこと、2020 年以降は新型コロナウイルス感染症の流行により、3 度の緊急事態宣言が発令されたことから、報道内容が新型コロナウイルス感染症関連のニュースで占められ、国民の HIV/エイズへの関心が低下したことが考えられた。保健所等 HIV 検査の中止・縮小割合は、首都圏 1 都 3 県と東海ブロックにおいては、第 1 回緊急事態宣言の 2020 年 5 月末の時点で自治体の約 9 割、HIV 検査施設の約 6 割、第 3 回緊急事態宣言の 2021 年 9 月末の時点では自治体の約 7 割、HIV 検査施設の約 6 割となっていた。

サイトコンテンツのページビュー数は、2019 年と 2020 年は「HIV・エイズって何?」、2021 年は「これって、性感染症?」が一番多かった。2021 年は梅毒感染者数が増加に転じて梅毒報道が多くなり、

また、政府広告にもリンクされたことにより、性感染症情報ページの閲覧数が増加したと思われた。

保健所等への HIV 検査相談に関するアンケート調査では、当サイトを閲覧したことがある担当者は、2019 年以降、保健所で 87～95%、特設検査施設で 93～100%、新型コロナウイルス感染症による HIV 検査日程の変更・中止について当サイトに修正依頼をした担当者は、保健所で 19～20%、特設検査施設で 57～73%、当サイトが HIV 検査相談事業に役立っていると回答した担当者は、65～77%、特設検査施設で 93～100%であった。保健所担当者は当サイトを閲覧したことはあるが、新型コロナウイルス感染症対応により HIV 検査中止等の連絡が難しかったと思われた。このような状況では、運営側が自主的に自治体 HIV 関連サイト等で HIV 検査情報を収集し、修正作業を行う必要性が示唆された。

2001 年に HIV 検査研究班の公式サイトとして開設以来、2021 年末までに合計 2,550 万件のアクセスがあった。当サイトは保健所等 HIV 検査相談施設の情報を多く紹介しており、自治体の HIV/エイズ情報サイト、日本赤十字社の献血者への配布文書、啓発用パンフレットなど多方面で紹介され、行政的にも有効活用されている。今後も正確で信頼される HIV 検査情報を提供していくとともに、HIV/エイズの理解促進と、検査希望者の受検アクセス向上に寄与したい。

A.研究目的

インターネットを介して保健所等HIV検査相談施設の検査情報やHIV/エイズの基礎知識などを継続的に提供し、検査希望者への情報提供と受検サポート、HIV/エイズの理解促進を目的としたウェブサイト「HIV検査・相談マップ」

(<https://www.hivkensa.com>) の管理運営を行うとともにそのアクセス状況の解析結果から受検希望者の動向調査を行った。また、本サイトの情報提供効果を調査するため、アクセス解析や保健所等職員へのアンケート調査を行い、当サイトが有効利用されているかを評価した。

2020年1月の新型コロナウイルス感染症流行以降、2021年も流行が継続しており、保健所等HIV検査の中止・縮小が相次いだことから、検査の事業縮小に伴う影響等も調査した。

B.研究方法

1. 新規情報掲載、情報修正作業

保健所等HIV検査相談施設で実施されている常設検査の情報や不定期に実施される検査イベントの情報、また、HIV/エイズに関する基礎知

識等について、ウェブサイト「HIV検査・相談マップ」(PCサイト、スマートフォンサイト、携帯電話サイト)に掲載し、情報提供を行った。PCサイトは2001年9月、携帯電話サイトは2003年4月に開設し、2009年10月にはPCサイトおよび携帯電話サイトのリニューアルを行った。2013年はスマートフォンサイトを開設し、2019年6月にはPCサイトとスマートフォンサイトについてトップページ操作性向上のためのレイアウト調整を行った。2020年7月には性感染症の啓発として、研究班で作成された梅毒啓発動画を発信するYouTubeチャンネルを作成し、サイト内に掲載した。2021年2月には研究班で作成した梅毒啓発ページ「梅毒って、なに？」の掲載を行った。2021年3月にはサイトの全面リニューアルとして、コンテンツ管理システム(CMS)の変更および新規デザインの作成を行い、レスポンス対応のリニューアルサイトを公開するとともに、携帯電話サイトの運用を終了した。

定期更新作業としては、毎年3月に新年度の検査日程等の情報確認のため、自治体および医

療機関に新年度情報確認依頼文書を送付し、3月中旬から修正作業を順次実施した。また通年の作業として、検査施設の新規掲載、掲載情報修正および検査イベント情報の掲載等を行った。

2. 新型コロナウイルス感染症拡大に伴う自治体HIV検査の実施状況調査

2020年1月に新型コロナウイルスの国内初感染事例の報告があり、感染拡大により2020年4月に緊急事態宣言が発令された。2021年に入ってから流行が継続し、保健所業務の増加に伴い保健所・特設検査施設のHIV検査の中止が相次いだことから、当サイトの掲載情報を修正する必要が生じた。サイト上に自治体HIV検査を受検する際の注意事項をポップアップで表示させるとともに、インターネット上で全国自治体サイトのHIV検査情報を閲覧調査し、随時情報修正作業を行った。また、検査中止または縮小の措置を行った自治体やHIV検査施設の調査を行った。

3. サイト利用状況の調査 - Web解析 -

本サイトのアクセス解析には「Google Analytics」および「検索順位ツールGRC」を用いて、①サイトアクセス数（年別、月別、日別）、②情報端末別アクセス数、③新規・リピーター割合、④チャンネル別アクセス割合、⑤検索エンジン（Google）での検索クエリ別順位、⑥参照元からのアクセス数、⑦サイトコンテンツのページビュー数、⑧アクセス地域およびアクセス言語、⑨外国語ページのページビュー数を調査し、利用者の動向およびHIV/エイズ関連報道によるアクセス数の影響等を解析した。

4. サイト活用状況の解析 - アンケート調査 -

HIV 検査・相談体制に関する調査（研究分担者 土屋菜歩先生）において、保健所および特設検査施設のHIV検査担当者に対し、当サイトの利用状況やHIV検査相談事業への活用等に関するアンケート調査を実施した。

C. 研究結果

1. 新規情報掲載、情報修正作業の状況

2019年は検査イベント情報掲載依頼が145件、情報修正依頼が420件、2020年は検査イベント情報掲載依頼46件、情報修正依頼344件、2021年は検査イベント情報掲載依頼69件、情報修正依頼351件で、随時、情報更新作業を行った（図1）。

サイトコンテンツの更新としては、2019年6月にPCサイトとスマートフォンサイトについてトップページ操作性向上のためのレイアウト調整を行った（図2）。2020年7月には性感染症の啓発として、研究班で作成された梅毒啓発動画を発信するYouTubeチャンネルを作成し、サイト内に掲載した。また、2021年2月にサイト内の梅毒情報ページ「もしかして梅毒!？」ページに代わり、新たに研究班で作成された「梅毒って、なに？」ページを公開した。2021年3月末にはサイトの全面リニューアルとして、コンテンツ管理システム（CMS）の変更および新規デザイン作成を行い、リニューアルサイトを公開した（図3）。

2. 新型コロナウイルス感染症拡大に伴う自治体HIV検査の実施状況調査

新型コロナウイルス感染症拡大による保健所業務の増加に伴い、保健所・特設検査施設のHIV検査の中止が相次いだことから、2020年4月よりサイト上に自治体HIV検査を受検する際の注意事項をポップアップで表示し、2022年3月時

点でも注意喚起を継続している（図 4）。また、当サイトの掲載情報を随時修正するために、インターネットで公開されている全国自治体サイトの HIV 検査情報を閲覧調査した。その結果、HIV 検査を中止または縮小した自治体は、2020 年は 3 月末時点で 21%、5 月末時点で 61%、9 月末時点で 42%、12 月末時点で 36%、2021 年は 3 月末時点で 38%、5 月末時点で 42%、9 月末時点で 55%、12 月末時点で 32%であった（図 5-6）。また、HIV 検査施設数でみると、2020 年は 3 月末時点で 7%、5 月末時点で 33%、9 月末時点で 21%、12 月末時点で 19%、2021 年では 3 月末時点で 16%、5 月末時点で 22%、9 月末時点で 29%、12 月末時点で 12%であった（図 7-8）。特に東京都、埼玉県、千葉県、神奈川県、1 都 3 県および東海ブロックにおいては、第 1 回緊急事態宣言の 2020 年 5 月下旬の時点で自治体の約 9 割、HIV 検査施設の約 6 割、第 3 回緊急事態宣言の 2021 年 9 月末の時点では自治体の約 7 割、HIV 検査施設の約 6 割において検査中止または縮小の措置を取っていたことが分かった。一方、近畿ブロックでは、2020 年 5 月末での中止割合は自治体の約 7 割、HIV 検査施設の 4 割であったが、2021 年 9 月末では自治体の約 4 割、HIV 検査施設の約 2 割であった。

3. サイト利用状況の調査 — Web 解析—

PC サイト、スマートフォンサイトおよび携帯電話サイトでの 2001 年からの合計アクセス数は約 2,550 万件となった（図 9）。年間サイトアクセス数は、2019 年は 223 万件、2020 年は 147 万件、2021 年は 104 万件であり、2019 年は 2001 年のサイト開設以来、過去最高のアクセス数となったが、2020 年以降は減少傾向となった。情報端末別にみると、スマートフォンからのアクセス数は、2019 年は 90%、2020 年は 88%、

2021 年は 85%を占めた（図 10）。月別アクセス数は、2018 年 11 月をピークとして 2019 年は右肩下がりアクセス数が減少し、2020 年 1~2 月は若干増加に転じてひと月あたり 15 万件のアクセスがあったが、2 月以降は 11~12 万件と横ばいで推移した（図 11）。2021 年 1~12 月の月別アクセス数は、過去 6 年間の同月を下回り、横ばいで推移した。日別アクセス数では、一日あたり 10,000 件を超えた日は 2019 年では計 9 回あったが、2020 年と 2021 年では 1 回もなかった（図 12）。2021 年は HIV 検査普及週間の期間中である 6 月 4 日に 9,929 件、性の健康週間の政府広告に「これって、性感染症」ページがリンクされた 11 月 23~29 日に一日あたり 7,000 件前後のアクセス数が見られた。訪問者別割合は、2019 年以降は、新規訪問者が 85%以上を占めた（図 13）。チャンネル別のアクセス割合は、2020 年は検索エンジンからのアクセスが 87.2%、直接アクセスが 9.5%、他サイトからのアクセスが 2.6%、SNS からのアクセスが 0.7%であり、2021 年は検索エンジンからのアクセスが 82%、直接アクセスが 14%、他サイトからのアクセスが 3%、SNS からのアクセスが 0.7%であった（図 14）。

検索エンジン（Google）で検索に用いられたクエリ別の順位を 10 位まで調査したところ、2019 年に検索エンジンで当サイトを閲覧する際に一番多く使用された検索用語は「HIV」であり、以下、「エイズ」、「梅毒」と続いた（図 15）。10 位以内の検索用語の平均掲載順位は 1.1~7.2 であり、「梅毒」も 5.4 と上位に表示されていた。2020 年に一番多く使用された検索用語は「エイズ」であり、以下、「HIV」、「エイズとは」、「HIV 検査」、「性病 症状」と続いた（図 16）これらの検索用語での検索エンジンでの平均掲載順位は 1.5~3.2 と上位であり、また、10 位以内の検索用語の平均掲載順位は 1.0~8.6 となった。2021 年に一

番多く使用された検索用語は「性病 症状」であり、以下、「エイズ」、「HIV 検査」、「HIV」、「エイズとは」と続いた（図 17）。これらの検索用語での検索エンジンでの平均掲載順位は 1.9～4.9 であり、10 位以内の検索用語の平均掲載順位も 1.9～4.9 であった。「梅毒」の検索用語順位は、2018 年は 1 位、2019 年は 3 位、2020 年は 10 位であったが、2021 年では 50 位圏外であった。

検索エンジン (Google) における検索クエリ別の 2021 年の月別検索順位をみたところ、「HIV」では 1～6 位、「エイズ」では 1～10 位、「AIDS」では 3～18 位の間で推移していた（図 18）。

「HIV」、「エイズ」、「AIDS」と「検査」の用語の組み合わせ、また、「HIV」、「AIDS」と「test」の用語の組み合わせでは 1～3 位に表示された。「性感染症」では、7～11 位の間で推移していた。「梅毒」では 30 位以降の表示となっていた。

2021 年の参照元からのアクセス数を見たところ、Google 検索からが最も多く約 53 万件、Yahoo! JAPAN 検索からが約 16 万件、直接アクセスが約 12 万件であったが、Twitter リンクや YouTube からのアクセスも見られた（図 19）。

サイトコンテンツのページビュー数は、2019 年は全体で 5,358,843 件、と 2020 年は 3,042,498 件、2021 年は 1,888,904 件であり、一番多くみられたページは、2019 年と 2020 年は「HIV・エイズって何?」、2021 年は「これって、性感染症?」であった（図 20-22）。検査・相談施設別ページビュー数では、2019 年から 2021 年まで「東京都新宿東口検査・相談室」が一番多く、次いで「chot CAST (大阪検査相談・啓発・支援センター)」であった（図 23-25）。

当サイトへのアクセス地域は、2019 年は日本からが 156 万人、米国 7,557 人、タイ国 6,271 人、フィリピンが 2,315 人、2020 年は日本からが 111 万人、米国 3,503 人、タイ国 1,800 人、韓

国が 1,632 人、2021 年は日本からが 84 万人、米国 2,656 人、中国 1,974 人、インドネシアが 1,286 人であった（図 26-28）。外国語ページ（英語、スペイン語、タイ語、タガログ語、ベトナム語、ポルトガル語、韓国語、中国語およびやさしい日本語）のページビュー数は、2019 年は英語ページが 12,817 件、やさしい日本語が 21,063 件、2020 年は英語ページが 8,114 件、やさしい日本語が 13,417 件、2021 年は英語ページが 5,307 件、やさしい日本語が 3,605 であった（図 29）。

4. サイト活用状況の解析 —アンケート調査—

全国保健所および特設検査施設に対して実施した HIV 検査相談に関するアンケート調査において、当サイトの利用状況や HIV 検査相談事業への貢献度に関する質問を HIV/エイズ対策担当者に質問した。「当サイトを閲覧したことがあるか」の設問に対しては、「ある」との回答は、保健所で 2019 年 95%、2020 年 87%、2021 年 87%、特設検査施設で 2019 年 100%、2020 年 100%、2021 年 93%、（図 30）、「新型コロナウイルス感染症により HIV 検査日程が変更・中止になった際に当サイトに修正依頼を送ったか」の設問では、「はい」との回答は、保健所で 2020 年 19%、2021 年 20%、特設検査施設で 2020 年 73%、2021 年 57%（図 31）、「当サイトが事業に役立っていると思うか」の設問では、「思う」の回答は保健所で 2019 年 77%、2020 年 65%、2021 年 66%、特設検査施設で 2019 年 100%、2020 年 100%、2021 年 93%であった（図 32）。

D. 考察

年間サイトアクセス数は、2019 年は 223 万件、2020 年は 147 万件、2021 年は 104 万件であり、2019 年は 2001 年のサイト開設以来、過去最高

のアクセス数となったが、2020年以降は減少傾向となった。要因としては、2019年は2018年11月公開の映画によりHIV/エイズへの関心が高まったこと、2020年以降は新型コロナウイルス感染症流行が継続し、その間に3回の緊急事態宣言が発令されたことから、報道内容が新型コロナウイルス感染症関連のニュースで占められ、国民のHIV/エイズへの関心が低下したことが考えられた。また、2021年3月にサイトの全面リニューアルとして、コンテンツ管理システム（CMS）の変更および新規デザインの作成を行い、レスポンス対応のリニューアルサイトを公開したが、検索エンジンでの表示順位が以前のサイトよりも低下傾向にあり、その原因については今後調査していく必要がある。

2020年以降の新型コロナウイルス感染症対応による保健所業務の増加により、保健所等HIV検査の中止・縮小が相次ぎ、第1回緊急事態宣言の5月末時点でHIV検査を中止・縮小していた自治体は61%、HIV検査施設では33%、第3回緊急事態宣言中の2021年9月末時点で保健所等HIV検査の中止・縮小していた自治体は55%、HIV検査施設は29%であり、緊急事態宣言発令により中止・縮小割合が高くなる傾向にあった。首都圏1都3県と東海ブロックにおいては、2020年5月末時点で自治体の約9割、HIV検査施設の約6割、2021年9月末の時点で自治体の約7割、HIV検査施設の約6割が中止・縮小の措置を取っており、他のブロックよりも高い傾向にあった。一方、近畿ブロックでは、2020年5月末時点で中止・縮小割合は、自治体の約7割、HIV検査施設の4割であったが、2021年9月末では自治体の約4割、HIV検査施設の約2割と低く抑えられていた。エイズ動向委員会報告の全国保健所等のHIV抗体検査件数は、2021年1～6月は2020年1～6月と比較して43%の減少

であったが、地域ブロック別に見ると、東海ブロックは56%の減少であるのに対し、近畿ブロックでは30%の減少に留まっており、中止・縮小割合が低かったことが要因と思われた（図33）。

情報端末別アクセス数では、スマートフォンからのアクセス数が2018年以降、85%以上となっており、スマートフォンでの表示を主としたサイトの内容構成が重要と思われた。

チャンネル別のアクセス割合では、2021年は検索エンジンからのアクセスが2020年より5%減少し、直接アクセスは2020年より4.5%増加していた。しかしながら、SNSからのアクセス割合は前年同様に少ないことが分かった。新サイトでは当サイト情報をSNSで共有してもらいやすいよう、シェアボタンの配置などに配慮したが、ポストコロナ以降に向けてその動向に注視したい。

検索エンジン（Google）での検索クエリ別の順位を10位まで調査したところ、2019年に検索エンジンで当サイトを閲覧する際に一番多く使用された検索用語は「HIV」であり、2020年は「エイズ」、2021年は「性病 症状」であった。2021年は梅毒感染者数が増加に転じて梅毒報道が多くなり、また、政府広告にもリンクされたことから、性感染症情報ページ閲覧数も増加したと思われた。「梅毒」の用語検索順位は、2018年は1位、2019年は3位、2020年は10位、2021年は50位圏外となった。2021年2月に「梅毒って、なに？」ページを公開したが、3月に新サイトに移行した影響もあると考えられることから、その原因について調査していきたい。

参照元からのアクセス数は検索サイトからがほとんどを占めたが、TwitterのリンクやYouTubeからのアクセスも見られた。今後、SNSからのリンク件数を増加させる方法を考えたい。

外国語ページは、2019年はやさしい日本語が

21,063 件、英語ページ 12,817 件、ベトナム語 2,389 件、2020 年では、やさしい日本語 13,417 件、英語ページ 8,114 年、ベトナム語 1,816 件、2021 年では、英語ページ 5,307 年、やさしい日本語 3,605 件、ベトナム語 1,384 件と年々減少していた。また、当サイトへのアクセス地域も 2019 年は米国 7,557 人であったが、2020 年は 3,503 人、2021 年は 2,656 人と減少しており、新型コロナウイルスによる渡航中止等の影響が大きいと思われた。

保健所等への HIV 検査相談に関するアンケート調査では、当サイトを閲覧したことがある担当者は、2019 年以降、保健所で 87～95%、特設検査施設で 93～100%、新型コロナウイルス感染症による HIV 検査日程の変更・中止について当サイトに修正依頼をした担当者は、保健所で 19～20%、特設検査施設で 57～73%、当サイトが HIV 検査相談事業に役立っていると回答した担当者は、65～77%、特設検査施設で 93～100% であった。保健所担当者は当サイトを閲覧したことはあるが、新型コロナウイルス感染症業務の増加により HIV 検査中止等の連絡までは手が回らなかったと思われた。このため、運営側が自主的に自治体 HIV 関連サイト等で HIV 検査情報を収集し、修正作業を行う必要性が示唆された。

当サイトは HIV 検査研究班の公式サイトとして 2001 年に開設し、2021 年末までに約 2,550 万件のアクセスがあった。全国の保健所等 HIV 検査相談施設の情報を提供するとともに、HIV/エイズ情報提供ページとしても機能している。また、当サイトは自治体の HIV/エイズ情報媒体、日本赤十字社の献血者への配布文書、啓発用パンフレット等、多方面で紹介され、行政的にも有効活用されている。今後も正確で最新の HIV 検査情報を提供していくとともに、更なる HIV/エ

イズの理解促進と、受検アクセスの向上に寄与していきたい。

E. 結論

ウェブサイト「HIV 検査・相談マップ」(<https://www.hivkensa.com>) を運営し、保健所等 HIV 検査相談施設の最新情報や HIV 検査に関する基礎知識等の情報を継続的に提供した。また、アクセス解析から、利用状況や閲覧ページの動向等を調査した。2020 年 1 月の新型コロナウイルス感染症流行以降、緊急事態宣言発令等により保健所等 HIV 検査の中止・縮小が相次いだことから、検査の事業縮小に伴う影響等を調査した。

年間サイトアクセス数は、2019 年は 223 万件、2020 年は 147 万件、2021 年は 104 万件であり、2019 年は 2001 年のサイト開設以来、過去最高のアクセス数となったが、2020 年以降は減少傾向となった。保健所等 HIV 検査の中止・縮小割合は、首都圏 1 都 3 県と東海ブロックにおいては、第 1 回緊急事態宣言の 2020 年 5 月下旬の時点で自治体の約 9 割、HIV 検査施設の約 6 割、第 3 回緊急事態宣言の 2021 年 9 月末の時点で自治体の約 7 割、HIV 検査施設の約 6 割となり、他のブロックよりも高い傾向にあった。一方、近畿ブロックの 2021 年 9 月末では自治体の約 4 割、HIV 検査施設の約 2 割と低く抑えられており、HIV 抗体検査件数の減少割合も低かった。

サイトコンテンツのページビュー数は、2019 年と 2020 年は「HIV・エイズって何?」、2021 年は「これって、性感染症?」が一番多かった。2021 年は梅毒感染者数が増加に転じて梅毒報道が多くなり、また、政府広告にもリンクされたことにより、性感染症情報ページの閲覧数が増加したと思われた。

保健所等アンケート調査結果から、保健所

HIV 担当者は当サイトを見たことはあるが、新型コロナウイルス感染症対応により HIV 検査中止等の連絡までは手が回らなかった施設が多いことが分かった。このため、運営側が自主的に情報を収集し、修正作業を行う必要性が示唆された。

(サイト URL・掲載情報転載依頼)

<2019 年度>

1. 株式会社大修館書店「高等学校保健体育科用 文部科学省検定済教科書」サイト画面キャプチャを掲載

<2020 年度>

1. 株式会社集英社「どんなわたしも愛してる」書籍、サイト URL 掲載
2. (株)日総研出版「新生児・小児領域の感染対策」講義スライド資料、「HIV 検査まめ知識 / HIV 検査のウインドウ期とは？」の図の転載
3. 株式会社メディアート作成サイト「女性の感染症(仮)」、「これって性感染症？ / 症状からどんな性感染症(性病)が考えられる？」の内容の転載

<2021 年度>

1. (株)エイデル研究所、単行本『アイはあるの？』に当サイト URL を掲載
2. (株)東北新社 / スターチャンネル、海外ドラマ『IT'S A SIN 哀しみの天使たち』で当サイト URL を紹介
3. (株)東山書房、教科書『新版学校看護』に「HIV 検査まめ知識 3. HIV 検査のウインドウ期とは？ <HIV 感染とウイルスマーカー>」の図を掲載
4. (株)メディアート、パンフレット『マンガで学ぶ HIV/エイズ』（制作：塩野義製薬株式会社）において「HIV・エイズって何？」を引用

5. ギリアドサイエンシズ(株)、ウェブサイト『Treat Yourself』において「これって、性感染症？」を引用
6. 厚生労働省結核感染症課、政府広告において「これって、性感染症？」ページをリンク
7. 早稲田大学ジェンダー研究所、冊子『性的同意ハンドブック』で当サイト URL を紹介
8. NPO 法人ピルコン、性の健康・リレーションシップ教育講座の教材およびウェブサイト で当サイト URL を紹介
9. NPO 法人ふるすあるは、アプリ『おたすけことてん』およびウェブサイト で当サイト URL を紹介
10. 公益財団法人よこはまユース、横浜市作成の青少年の課題に関する広報・啓発のポータルサイトで当サイト URL を紹介

F.健康危険情報

なし

G.研究発表

1. 論文発表

- 1) 佐野貴子、嘉手苧将、渡邊寿美、鈴木理恵子、稲田貴嗣、近藤真規子. 神奈川県域の保健所等における HIV 検査数の推移と陽性例の解析. 神奈川県衛生研究所研究報告、49 : 7-12、2019
- 2) 貞升健志、長島真美、吉村和久、川畑拓也、佐野貴子、近藤真規子、松岡佐織、立川愛、草川茂. 病原体検出マニュアル「後天性免疫不全症候群/HIV 感染症」改訂の経緯. 病原微生物検出情報、40 : 166-167、2019
- 3) 石田倫也、白井宏幸、白井宏直、土岐平、野々田豊、岩崎俊之、石倉健司、野々山勝人、佐野貴子. 流行性筋痛症とヒトパレコウイルス. 小児科、60 : 1395-1400、2019

- 4) 佐野貴子、近藤真規子、櫻木淳一、中澤よう子. 神奈川県および全国の HIV 検査動向と COVID-19 パンデミックの影響について. 病原微生物検出情報、42、10、217-218、2021

2.学会発表

- 1) 佐野貴子、近藤真規子、土屋菜歩、須藤弘二、星野慎二、井戸田一郎、清水茂徳、生島嗣、岩橋恒太、今井光信、加藤真吾、市川誠一、白坂琢磨、今村顕史. ウェブサイト「HIV 検査・相談マップ」を用いた HIV 検査相談情報の提供とサイト利用状況の解析. 第 33 回日本エイズ学会学術集会・総会、2019 年 11 月 27-29 日、熊本.
- 2) 須藤弘二、佐野貴子、近藤真規子、今井光信、今村顕史、加藤真吾. HIV 郵送検査に関する実態調査 (2018). 第 33 回日本エイズ学会学術集会・総会、2019 年 11 月 27-29 日、熊本.
- 3) 近藤真規子、佐野貴子、長島真美、貞升健志、蜂谷敦子、瀧永博之、吉村幸浩、立川夏夫、岩室紳也、井戸田一郎、今井光信、加藤真吾、椎野貞一郎、吉村和久、菊地正. 日本で流行している HIV-1 CRF01_AE の分子疫学的特徴の解析. 第 33 回日本エイズ学会学術集会・総会、2019 年 11 月 27-29 日、熊本.
- 4) 土屋菜歩、佐野貴子、近藤真規子、カエベタ亜矢、関なおみ、城所敏英、根岸潤、堅多敦子、川畑拓也、貞升健志、須藤弘二、加藤真吾、大木幸子、生島嗣、今井光信、今村顕史. 保健所・検査所における HIV 検査・相談体制と実施状況および課題に関するアンケート調査. 第 33 回日本エイズ学会学術集会・総会、2019 年 11 月 27-29 日、

熊本.

- 5) 土屋菜歩、佐野貴子、近藤真規子、カエベタ亜矢、関なおみ、城所敏英、根岸潤、堅多敦子、川畑拓也、貞升健志、須藤弘二、加藤真吾、大木幸子、生島嗣、今井光信、今村顕史. 保健所・検査所における梅毒検査実施状況および陽性率に関するアンケート調査. 第 33 回日本エイズ学会学術集会・総会、2019 年 11 月 27-29 日、熊本.
- 6) 桃原祥人、吉野直人、伊藤由子、大里和広、小山理恵、高橋尚子、塚原優己、渡邊英恵、羽柴知恵子、廣瀬紀子、佐野貴子、鈴木ひとみ、長興由紀子、津國瑞紀、浅野真、谷村憲司、森實真由美、木内英、喜多恒和. HIV 母子感染予防啓発に関する全国自治体アンケート調査と今後の啓発活動の考察. 第 33 回日本エイズ学会学術集会・総会、2019 年 11 月 27-29 日、熊本.
- 7) 佐野貴子、近藤真規子、櫻木淳一、中澤よう子、今井光信. 神奈川県域の保健所等における HIV 検査数の推移と陽性例の解析. 第 34 回日本エイズ学会学術集会・総会、2020 年 11 月 27-12 月 25 日、Web 開催.
- 8) 須藤弘二、佐野貴子、近藤真規子、今井光信、今村顕史、加藤真吾. HIV 郵送検査に関する実態調査 (2019). 第 34 回日本エイズ学会学術集会・総会、2020 年 11 月 27-12 月 25 日、Web 開催.
- 9) 土屋菜歩、佐野貴子、カエベタ亜矢、関なおみ、城所敏英、根岸潤、堅多敦子、川畑拓也、貞升健志、須藤弘二、加藤真吾、大木幸子、生島嗣、今井光信、今村顕史. 保健所・検査所における HIV 検査・相談体制と実施状況および課題に関するアンケート調査. 第 34 回日本エイズ学会学術集会・総会、2020 年 11 月 27 日-12 月 25 日 Web に

て開催。

- 10) 土屋菜歩、佐野貴子、カエベタ亜矢、関なおみ、城所敏英、根岸潤、堅多敦子、川畑拓也、貞升健志、須藤弘二、加藤眞吾、大木幸子、生島嗣、今井光信、今村顕史。保健所・検査所における梅毒検査実施状況および陽性率に関するアンケート調査。第34回日本エイズ学会学術集会・総会、2020年11月27-12月25日、Web開催。
- 11) 佐野貴子、近藤真規子、土屋菜歩、井戸田一朗、堅多敦子、須藤弘二、星野慎二、清水茂徳、生島嗣、岩橋恒太、今井光信、加藤眞吾、市川誠一、白阪琢磨、櫻木淳一、今村顕史。COVID-19流行下におけるウェブサイト「HIV検査・相談マップ」のサイト利用状況と公的HIV検査縮小による影響。第35回日本エイズ学会学術集会・総会、2021年11月21-23日、東京。
- 12) 須藤弘二、佐野貴子、近藤真規子、今井光信、今村顕史、加藤眞吾。HIV郵送検査に関する実態調査(2020)。第35回日本エイズ学会学術集会・総会、2021年11月21-23日、東京
- 13) 土屋菜歩、佐野貴子、カエベタ亜矢、城所敏英、関なおみ、根岸潤、堅多敦子、川畑拓也、貞升健志、須藤弘二、加藤眞吾、大木幸子、生島嗣、今井光信、今村顕史。保健所・検査所におけるHIV検査・相談体制と実施状況および課題に関するアンケート調査。第35回日本エイズ学会学術集会・総会、2021年11月21-23日、東京。

- 14) 土屋菜歩、佐野貴子、カエベタ亜矢、城所敏英、関なおみ、根岸潤、堅多敦子、川畑拓也、貞升健志、須藤弘二、加藤眞吾、大木幸子、生島嗣、今井光信、今村顕史。保健所・検査所における梅毒検査実施状況および陽性率に関するアンケート調査。第35回日本エイズ学会学術集会・総会、2021年11月21-23日、東京。
- 15) 近藤真規子、佐野貴子、須藤弘二、井戸田一朗、土屋菜歩、貞升健志、今井光信、加藤眞吾、櫻木淳一、中澤よう子、今村顕史。新型コロナウイルス感染症流行禍におけるHIV検査体制の実態。第35回日本エイズ学会学術集会・総会、2021年11月21-23日、東京。

H.知的所有権の出願・登録状況(予定を含む)

なし

図1

サイト掲載の施設情報、検査イベント情報、 情報修正依頼件数

掲載・修正依頼	2017年	2018年	2019年	2020年	2021年
施設情報	657	650	647	652	657
検査イベント情報	168	149	145	46	69
情報修正依頼	363	403	420	344	351

図2 トップページ操作性向上のための調整 (2019年6月)

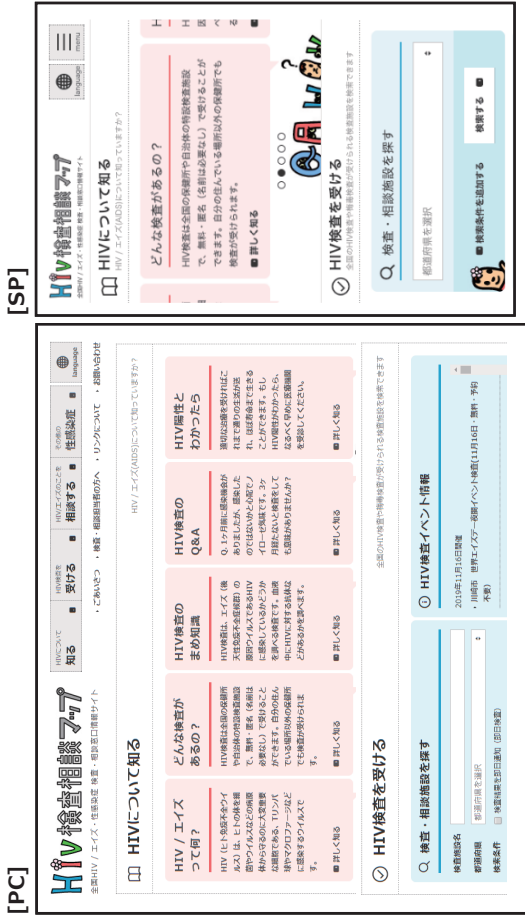
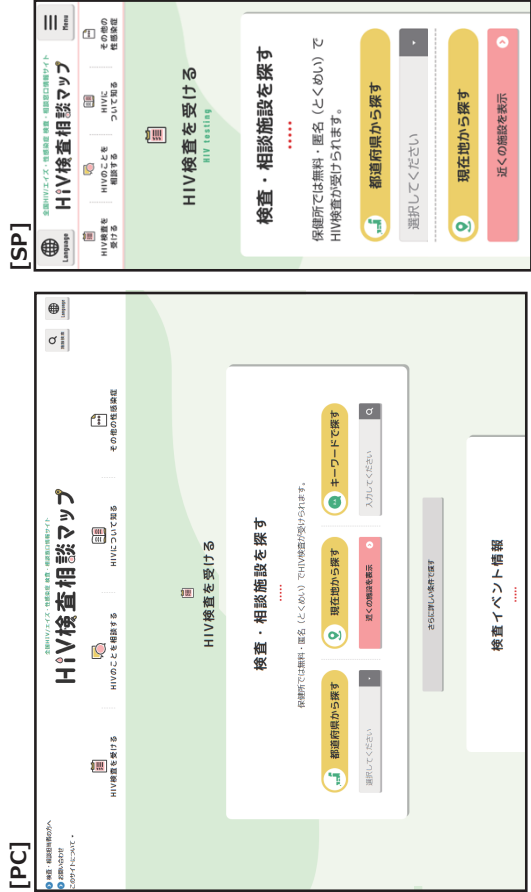


図3 サイトCMSおよびデザインリニューアル(2021年3月)



CMS : Movable Type からWordPressへ変更

図4 サイト閲覧時に保健所等HIV検査中止に係わる
注意喚起文をポップアップで表示

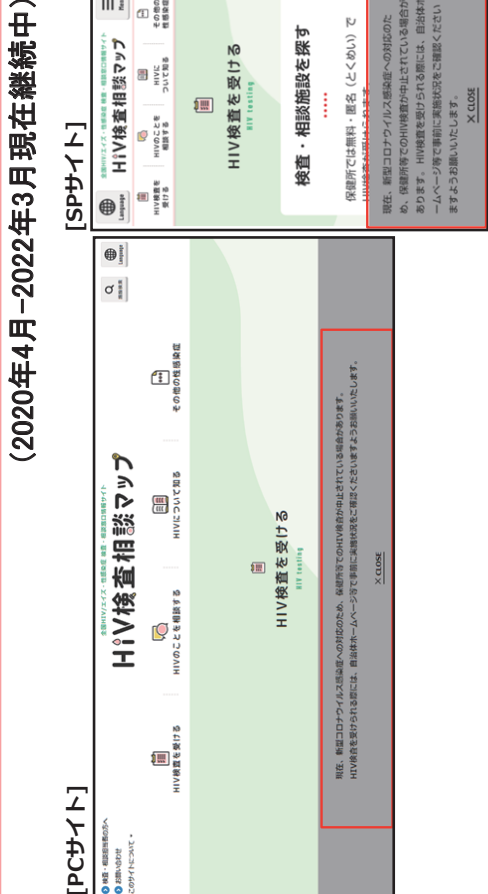


図5 地域ブロック別の中止・縮小割合(自治体数)

地域ブロック	掲載自治体数	2020年			2021年				
		3月末時点	5月末時点	9月末時点	12月末時点	3月末時点	5月末時点	9月末時点	12月末時点
北海道	5	0%	60%	40%	60%	20%	40%	20%	0%
東北	15	0%	27%	20%	20%	53%	60%	73%	40%
関東甲信越 (うち1都3県)	55 (42)	31% (33%)	76% (91%)	49% (52%)	46% (52%)	50% (55%)	73% (74%)	43% (43%)	43% (43%)
北陸	6	0%	33%	33%	17%	17%	33%	17%	17%
東海	12	42%	92%	67%	67%	54%	77%	38%	38%
近畿	24	17%	67%	33%	17%	42%	38%	21%	21%
中国・四国	19	5%	42%	32%	21%	26%	32%	16%	16%
九州・沖縄	18	33%	61%	50%	39%	33%	44%	33%	33%
総計	154	21%	61%	42%	36%	42%	55%	32%	32%

図6 地域ブロック別の中止・縮小割合(自治体数)

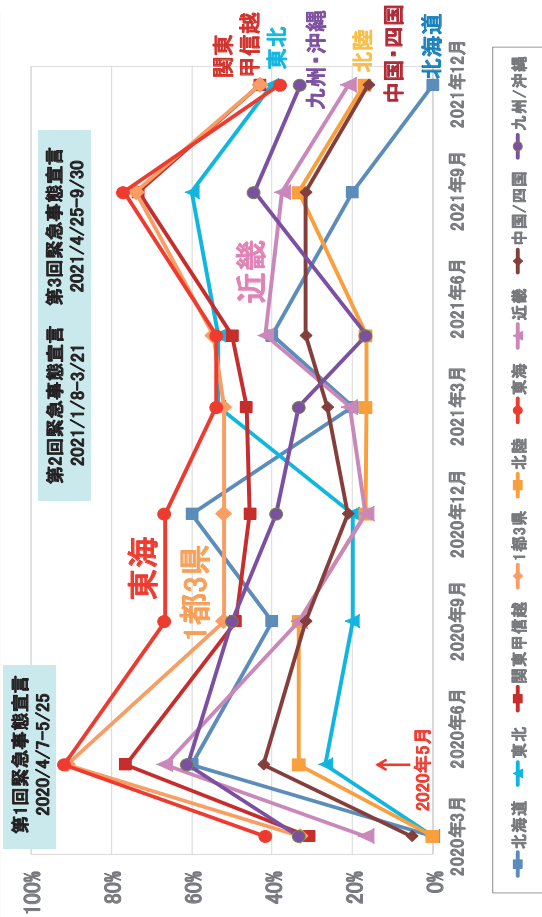


図7 地域ブロック別の中止・縮小割合(施設数)

地域ブロック	掲載自治体数	2020年			2021年				
		3月末時点	5月末時点	9月末時点	12月末時点	3月末時点	5月末時点	9月末時点	12月末時点
北海道	40	0%	33%	30%	30%	3%	30%	5%	0%
東北	61	0%	12%	10%	13%	29%	26%	27%	19%
関東甲信越 (うち1都3県)	179 (113)	11% (13%)	44% (63%)	26% (33%)	22% (32%)	23% (32%)	25% (33%)	46% (59%)	20% (27%)
北陸	22	0%	9%	9%	5%	5%	5%	9%	5%
東海	58	10%	55%	38%	38%	12%	46%	61%	8%
近畿	82	7%	40%	13%	5%	10%	16%	15%	10%
中国・四国	79	1%	20%	13%	14%	9%	19%	11%	8%
九州・沖縄	87	12%	29%	20%	21%	13%	8%	15%	7%
総計	608	7%	33%	21%	19%	16%	22%	29%	12%

図8 地域ブロック別の中止・縮小割合(施設数)

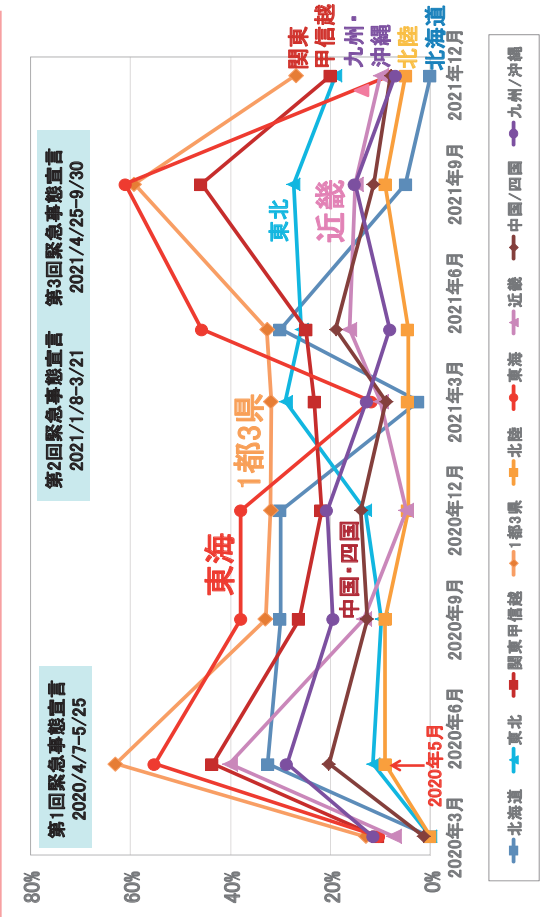


図9 サイトアクセス数 (2001年-2021年)

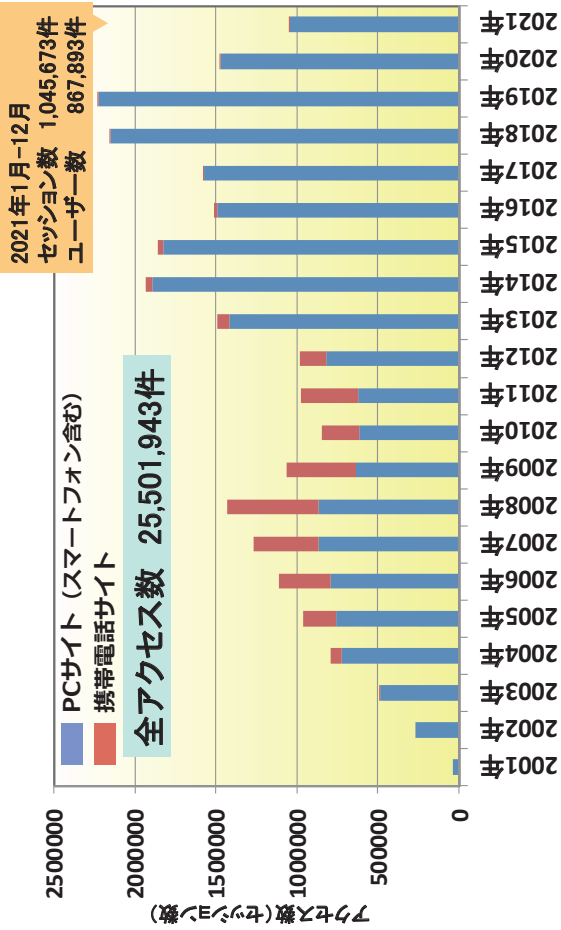


図10 情報端末別アクセス数の推移 (2010年-2021年)

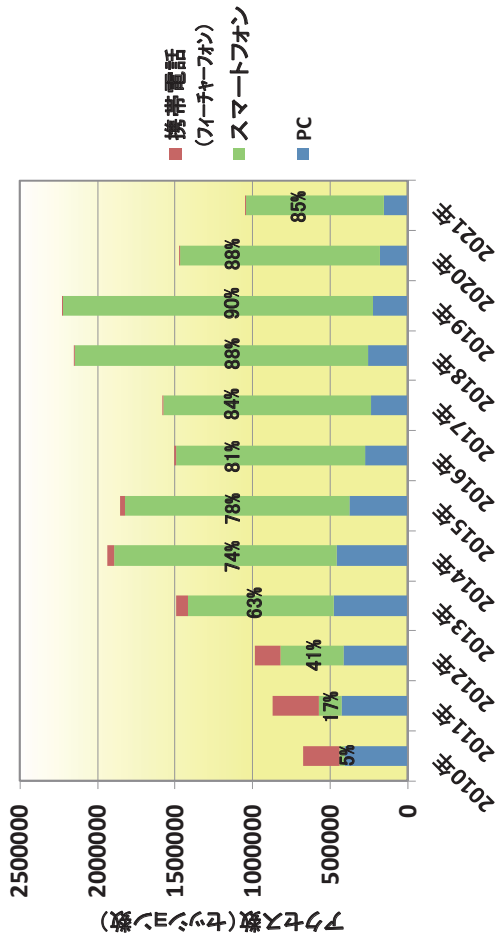


図11 月別アクセス数の推移 (2015年-2021年)

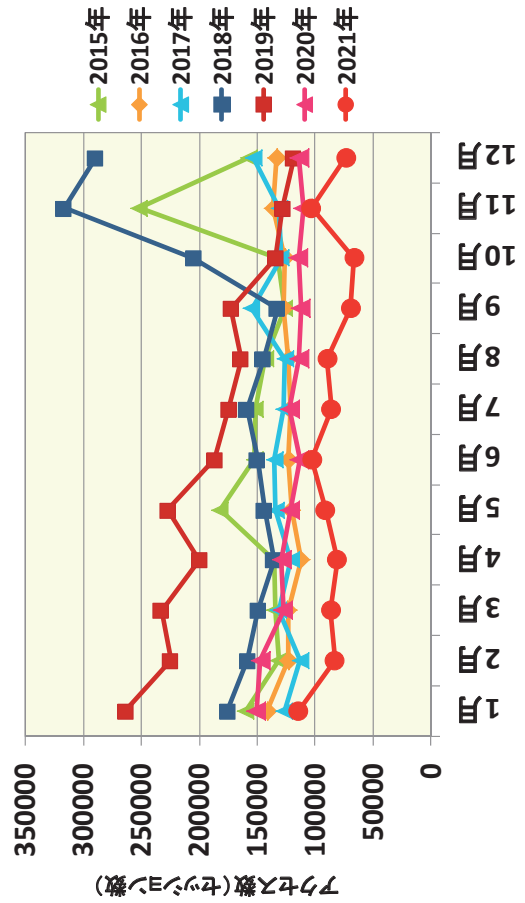


図12 日別アクセス数 (2019年-2021年)



図14

チャンネル別アクセス割合 (2021年)

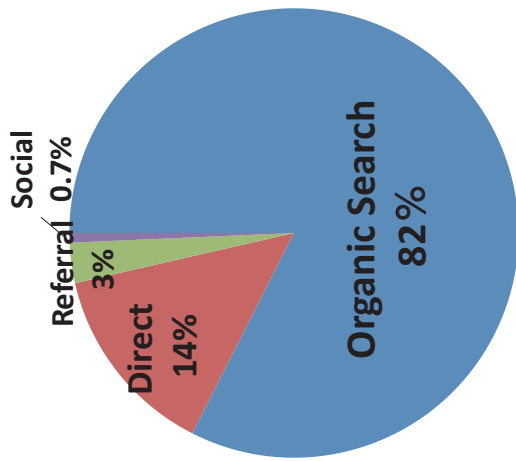


図13

訪問者別(新規・リピーター)割合 (2015年-2021年)

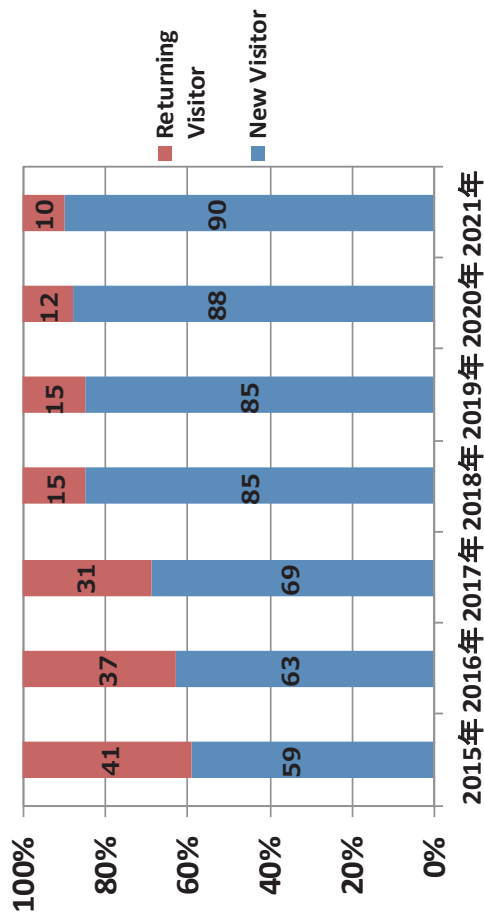


図16

検索エンジン 検索クエリ別順位 (Google) (2020年)

順位	検索クエリ	クリック数	平均掲載順位
1	エイズ	42,319	2.3
2	HIV	38,786	2.0
3	エイズとは	32,525	1.9
4	hiv 検査	30,163	1.5
5	性病 症状	24,540	3.2
6	hivとは	21,209	2.1
7	エイズ検査	14,617	1.4
8	hiv感染率	9,007	1.0
9	エイズ感染率	8,351	1.0
10	梅毒	7,181	8.6

図15

検索エンジン 検索クエリ別順位 (Google) (2019年)

順位	検索クエリ	クリック数	平均掲載順位
1	hiv	70,217	1.8
2	エイズ	68,640	2.1
3	梅毒	58,470	5.4
4	hiv 検査	42,938	1.1
5	エイズ 検査	36,599	1.1
6	エイズとは	28,118	2.4
7	hiv 感染率	18,389	1.1
8	エイズ 感染率	17,209	1.1
9	梅毒 症状	12,690	7.2
10	梅毒 検査	11,898	1.4

図17

検索エンジン 検索クエリ別順位 (Google) (2021年)

順位	検索クエリ	クリック数	平均掲載順位
1	性病 症状	22,593	4.7
2	エイズ	20,859	4.9
3	hiv 検査	18,109	1.9
4	hiv	17,725	4.3
5	エイズとは	14,893	3.8
6	hivとは	9,754	3.6
7	エイズ検査	6,509	2.0
8	hiv 感染率	5,542	2.3
9	エイズ 感染率	4,145	2.1
10	エイズ 初期症状 女性	3,652	2.1

図18

検索エンジン 検索クエリ別月別検索順位 (Google)

検索クエリ	Google件数 (2022年1月)	2021年													
		1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月		
HIV	2,000,000,000	1	1	1	3	2	2	4	4	4	4	4	6	5	5
エイズ	6,580,000	2	2	1	3	2	2	3	4	4	5	7	7	10	10
AIDS	2,000,000,000	3	8	7	11	6	7	11	13	15	18	16	17	17	17
HIV 検査	3,470,000	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
エイズ 検査	2,960,000	2	2	2	3	2	2	2	2	2	2	1	2	1	1
AIDS 検査	789,000	1	2	1	2	2	2	2	2	2	2	1	2	1	1
HIV test	974,000,000	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
AIDS test	2,000,000,000	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	2	1	1	1
梅毒	12,400,000	46	49	30	49	31	30	37	36	31	34	39	38	38	38
梅毒 検査	2,520,000	6	8	27	22	8	15	10	11	16	18	16	16	25	25
性感染症	1,540,000,000	10	10	11	10	10	9	7	7	9	9	8	8	9	9

(PC版 検索順位チェックツールGRCで解析)

図19

参照元からのアクセス数 (2021年)

参照元	セッション数
1 Google 検索	531,618
2 Yahoo! JAPAN 検索	164,567
3 Direct access	120,668
4 ドコモ 検索	9,824
5 bing 検索	9,511
6 Twitter リンク	4,395
7 au 検索	2,031
8 厚生労働省	1,504
9 千葉市	1,392
10 HIVマップ	1,274
11 YouTube	1,052
12 東京都新宿区東口検査・相談室	1,019

図20

サイトコンテンツのページビュー数 (2019年)

ページビュー全体 5,358,843件

サイトコンテンツ	ページビュー数
1 mb HIV-エイズって何?	850,716
2 mb トップページ	325,754
3 mb HIV検査まめ知識	209,428
4 mb もしかして梅毒!?	177,087
5 mb HIV検査Q&A	156,514
6 mb 検査・相談所検索	143,007
7 mb 東京都検査結果ページ	86,563
8 mb 東京都新宿区検査・相談室	79,903
9 PC HIV-エイズって何?	67,438
10 PC トップページ	55,199

図21

サイトコンテンツのページビュー数(2020年)

ページビュー全体 3,042,498件

	サイトコンテンツ	ページビュー数
1	mb HIV-エイズって何?	397,445
2	mb これって、性感染症?	248,962
3	mb トップページ	208,419
4	mb HIV検査まめ知識	84,331
5	mb HIV検査Q&A	77,265
6	mb 検査・相談所検索	43,978
7	PC トップページ	41,387
8	mb 東京都南新宿検査・相談室	31,701
9	mb 大阪府検索結果ページ	29,660
10	mb もしかして梅毒!?	26,771

図22

サイトコンテンツのページビュー数(2021年)

ページビュー全体 1,888,904件

	サイトコンテンツ	ページビュー数
1	これって、性感染症?	304,973
2	HIV-エイズって何?	207,815
3	トップページ	185,332
4	検査・相談所検索	60,817
5	HIV検査まめ知識	38,642
6	HIV検査Q&A	29,504
7	東京都検索結果一覧	28,976
8	全国検索結果一覧	18,455
9	電話相談窓口	18,176
10	検査イベント情報	11,848

図23

検査・相談施設別ページビュー数(2019年)

	検査・相談施設	アクセス数
1	東京都南新宿検査相談室	79,903
2	chotCAST(大阪検査相談・啓発・支援センター)火・木・土・日曜日検査	35,434
3	あおぞらクリニック 新橋院	24,966
4	池袋保健所	22,714
5	神戸市保健所(検査会場:三宮センタープラザ西館6階)	22,369
6	新宿区保健所健診会場	20,738
7	東京都多摩地域検査・相談室	16,885
8	福岡市中央区保健福祉センター	15,173
9	千代田区千代田保健所	14,142
10	福岡市博多区保健福祉センター	12,297

図24

検査・相談施設別ページビュー数(2020年)

	検査・相談施設	アクセス数
1	東京都南新宿検査相談室	31,701
2	chotCAST(大阪検査相談・啓発・支援センター)火・木・土・日曜日検査	25,751
3	池袋保健所	11,775
4	神戸市保健所(検査会場:三宮センタープラザ西館6階)	11,322
5	福岡市中央区保健福祉センター	8,866
6	大阪市中央区保健福祉センター	8,681
7	新宿区保健所健診会場	8,662
8	東京都多摩地域検査・相談室	8,658
9	福岡市博多区保健福祉センター	8,345
10	山口県山口健康福祉センター	7,855

図25 検査・相談施設別ページビュー数 (2021年4月-12月)

検査・相談施設	アクセス数
1 東京都新宿東口検査・相談室	11,226
2 chotCAST(大阪検査相談・啓発・支援センター)火・木・土・日曜日検査	9,053
3 神戸市保健所(検査会場:三宮センタープラザ西館6階)	4,435
4 名古屋市中保健センター	4,028
5 札幌市中央保健センター	3,395
6 福岡市博多区保健福祉センター	3,340
7 大阪市中央区保健福祉センター	3,020
8 さいたま市HIV即日検査	2,891
9 船橋市保健所	2,850
10 福岡市中央区保健福祉センター	2,732
11 加古川健康福祉事務所(加古川保健所)	2,694
12 千代田区千代田保健所	2,593
13 京都市(昼間検査・夜間検査)(一般財団法人京都工場保健会)	2,386
14 山口県山口健康福祉センター(山口環境保健所)	2,340
15 神奈川県HIV即日検査センター 休日検査	2,291

図26 アクセス地域およびアクセス言語 (2019年)

アクセス国	ユーザー数	アクセス言語	ユーザー数
Japan	1,562,483	日本語(日本)	1,268,802
United States	7,557	日本語	269,262
Thailand	6,271	英語(米国)	45,140
Philippines	2,315	中国語(簡体)	6,391
Vietnam	2,017	英語(英国)	4,839
South Korea	1,772	中国語(繁体)	1,527
Australia	1,616	英語(オーストラリア)	1,509
Indonesia	1,551	韓国語(韓国)	1,221
Singapore	1,486	ベトナム語(ベトナム)	1,168
Canada	1,445	英語(カナダ)	808

図27 アクセス地域およびアクセス言語 (2020年)

アクセス国	ユーザー数	アクセス言語	ユーザー数
Japan	1,114,421	日本語	590,399
United States	3,503	日本語(日本)	511,367
Thailand	1,800	英語(米国)	20,368
South Korea	1,632	英語	7,221
China	1,050	中国語(簡体)	4,741
Vietnam	809	英語(英国)	3,546
Taiwan	792	英語(オーストラリア)	1,014
Australia	689	ベトナム語	996
Canada	604	韓国語	976
Philippines	597	韓国語(韓国)	947

図28 アクセス地域およびアクセス言語 (2021年)

アクセス国	ユーザー数	アクセス言語	ユーザー数
Japan	838,984	日本語	692,561
United States	2,656	日本語(日本)	129,390
China	1,974	英語(米国)	18,234
Indonesia	1,286	中国語(簡体)	4,291
South Korea	677	英語(英国)	2,758
Thailand	620	韓国語	1,255
Singapore	462	ベトナム語	1,133
Vietnam	343	英語(オーストラリア)	741
Taiwan	333	ポルトガル語	574
Hong Kong	307	中国語(繁体)	490

図29

外国語ページのページビュー数 (2019年-2021年)

言語	2019年	2020年	2021年
英語	12,817	8,114	5,307
スペイン語	452	315	231
タイ語	1,300	819	291
タガログ語	137	148	150
ベトナム語	2,389	1,816	1,384
ポルトガル語	755	506	391
韓国語	257	143	58
中国語	2,367	1,504	816
やさしい日本語	21,063	13,417	3,605

図30

(2019年-2021年)

ウェブサイト「HIV検査・相談マップ」を
ご覧になったことはありますか？

保健所	2019年	2020年	2021年
回答数	488	303	208
ある	463 (95%)	263 (87%)	181 (87%)
なし	21 (4%)	35 (12%)	26 (13%)
未記入	4 (1%)	5 (2%)	1 (0.5%)

特設検査施設	2019年	2020年	2021年
回答数	15	15	14
ある	15 (100%)	15 (100%)	13 (93%)
なし	0 (0%)	0 (0%)	0 (0%)
未記入	0 (0%)	0 (0%)	1 (7%)

図31

(2019年-2021年)

COVID-19によりHIV検査日程が変更・中止に
なった際に当サイトに修正依頼を送りましたか？

保健所	2019年	2020年	2021年
回答数		303	208
はい		56 (19%)	41 (20%)
いいえ		144 (48%)	87 (42%)
変更中止なし		95 (31%)	78 (38%)
未記入		8 (3%)	2 (1%)

特設検査施設	2019年	2020年	2021年
回答数		15	14
はい		11 (73%)	8 (57%)
いいえ		2 (13%)	1 (7%)
変更中止なし		2 (13%)	3 (21%)
未記入		0 (0%)	2 (14%)

図32

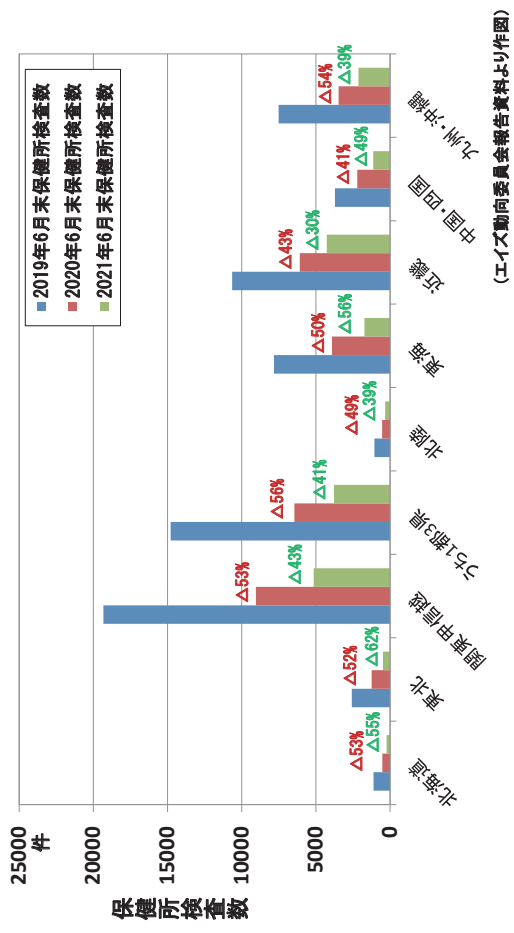
(2019年-2021年)

「HIV検査・相談マップ」は検査相談事業に
役立っていると思いますか？

保健所	2019年	2020年	2021年
回答数	488	303	208
はい	376 (77%)	197 (65%)	138 (66%)
いいえ	2 (0%)	3 (1%)	3 (1%)
不明	105 (22%)	98 (32%)	64 (31%)
未記入	5 (1%)	5 (2%)	3 (1%)

特設検査施設	2019年	2020年	2021年
回答数	15	15	14
はい	15 (100%)	15 (100%)	13 (93%)
いいえ	0 (0%)	0 (0%)	0 (0%)
不明	0 (0%)	0 (0%)	0 (0%)
未記入	0 (0%)	0 (0%)	1 (7%)

図33 地域ブロック別の保健所HIV検査数の推移
 (2019年1-6月、2020年1-6月、2021年1-6月)



(エイズ動向委員会報告資料より作成)